

会津若松市まちなか周遊バスハイカラさん実証実験の概要

(平成13年10月～平成15年9月)

背景

会津若松市は、鶴ヶ城や飯盛山(白虎隊自刃の地)を有する観光都市であり、年間約270万人の観光客が訪れる。これら観光客の交通手段は自家用車が6割以上を占め、最も多い。本市は城下町特有の筋違い、一方通行道路が多く、観光客にとっては快適な道路走行状況ではない。

市内の主要観光地、観光施設を回遊するバスを運行することによって、観光客の自家用車による市街地走行を抑制し、環境負荷の軽減並びに観光交通の円滑化を図る必要がある。



実験の概要

パークアンド・バスライド方式併用の主要観光施設を結ぶまちなか周遊バスを運行し、自家用車からバスへの乗り換えを促進する。

・運行主体 まちなか周遊バス運行事業実行委員会



自動車交通調整策

- ・パークアンド・バスライドの駐車場の設置
- ・レンタサイクル事業の実施

関係行政機関等によるTDM実験への支援
東北運輸局 東北地方整備局 福島県警察本部



実験の成果

平成14年7月～9月の周遊バスの輸送人員は、対前年同月比1.5倍となり、同年10月1日の運賃改訂(1日フリー乗車券920円 500円)後(14年10月～3月)の輸送人員は対前年約2.5倍に増加。
平成14年度の目標人員2万人に対し、4万1千人を輸送。
平成15年9月には、周遊バスの利用客が10万人を突破。
実験期間中に3回の交通量調査の結果、渋滞は年々減少の傾向にある。

実験終了後も継続運行中 (15年7月から1台増車)